

第28回地元学・エクスカッションウォーキング 恵那市明智町 すわがね（鶴岡山）を訪ねて

日 時：R4年12月4日(日)
天 気：曇り
10：00～14：00
地 域：恵那市明智町
吉田地区周辺
参 加 者：7名
里山会員：山田万、山田良、
井澤、水野、佐藤雅、
長江、伊藤



すわがね山頂

今回の地元学は、コロナ禍のため、会員のみの参加とし、次回の下見も兼ねているので、短いコースとしました。
すわがねは、冬の空気の澄んだ日は太平洋が眺望できますが、期待の太平洋は、本日曇り空の為見えませんでした。

すわがね（鶴岡山）山頂には戦国時代に、武田勝頼軍に攻められた明智白鷹城の援軍として、織田信長公自らが陣を構えた砦跡が残されています。

途中にある水源の森は矢作川の源流です。

明智大正村駐車場から車に分乗して、野志地区より登山道入り口を目指しました。

林道、ヒノキの森を歩いて到着したすわがね山頂（732m）では、本日開催の日本大正村フォトロゲイニングの参加者にも数組出会いました。

帰りはコースを変えて、健脚コースの大舟登山道を降りて来ました
次回の地元学では、小泉登山道（ゆったりコース）を登って、大舟登山道（健脚コース）を降りてくる予定です。

開催日は令和5年3月12日（日）です。太平洋が見えるように快晴を祈って下さい。

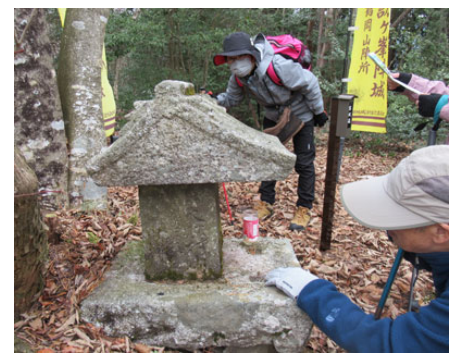
ぜひお楽しみに参加よろしくお願いします。



案内看板



頂上からの遠景



陣城跡と諏訪（大）明神



下山途中の景色



すわがね頂上に到着